

令和5年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

| | |
|---------------|---|
| ふ り が な | おおさかわんいきものいつせいちょうさ～おおさかわんかいがんせいぶつづえるかむりすと(むせき ついでうぶつ・うみも・うみくさ, 2022ねんぱん)(しよはん)のさくせい～ |
| 1. 事業(施策)の名称 | 大阪湾生き物一斉調査～大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草, 2022年版)(初版)の作成～ |
| 2. 事業(施策)実施期間 | 平成20年 6月 ～ 令和 4年10月 |
| 3. 事業費(工事費) | 15百万円 |
| 4. キーワード | 大阪湾再生行動計画 |
| 5. 事業概要 | 大阪湾の環境改善や干潟・藻場等の整備等の大阪湾再生の取り組みにより、大阪湾において、今後、新たに定着 あるいは分布範囲の拡大を期待する生物種を選定した「大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草, 2022年版)(初版)」を令和4年10月に作成し、ホームページ等で公表した。 |

| 6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」 | | |
|------------------------------|--------------------------|--|
| ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印 | ① ハード面 に秀でた事業 | ② ソフト面 に秀でた取組 |
| アピールする 1)「手段」 | () () () () | (b)行政と住民・企業・学識者等との共働 (c)情報発信 (d)イベントの開催 (i)その他 港湾・空港事業における影響評価や大阪 湾再生行動計画の評価指標として活用 |
| アピールする 2)「秀でた成果」 | () () () () | (j)環境保全対策 (l)その他 大阪湾の環境モニタリング |

| | |
|---------------|--|
| 7. 特にアピールしたい点 | 今後、港湾・空港事業における影響評価や、大阪湾再生行動計画の評価指標の一つとして、また、観察会等でウェ ルカムリストの生物がいるかどうかを確認し、多くの人に大阪湾の環境に興味を持っていただくことに寄与すると期待 されている。 |
|---------------|--|

8. 事業を代表する写真及びキャプション

大阪湾において今後、新たに定着あるいは分布範囲の拡大を期待する生物種を選定した、「大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草, 2022年版)(初版)」を令和4年10月に作成し、ホームページ等で公表した。
(編集・発行:大阪湾環境再生連絡会(事務局:国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所))



表紙



裏表紙

9. 事業内容・添付資料

大阪湾沿岸域では、人口増加や産業の発展に伴い、沿岸域の埋立が進み、閉鎖性海域が増えた結果、水環境が悪化を招き、「水質汚濁の慢性化」「生物多様性の低下」「親水性の低下」「浮遊・漂着・海底ごみの増加」ということが課題となっていた。そこで、近畿地方整備局が中心となり、大阪湾再生行動計画(第一期)を平成16年3月に策定し、現在は行動計画(第二期)(計画期間:平成26年度から令和5年度まで)において「森・川・里・都市・海等のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」を回復し、市民が誇りうる「大阪湾」を創出する」との目標のもと、下記の目標要素を柱に、関係省庁や地方公共団体等が連携し、大阪湾の再生を目指した様々な取り組みを実施してきており、令和5年度がその行動計画(第二期)の最終年度にあたっている。

- ①美しい「魚庭(なにわ)の海」
 - ②親しみやすい「魚庭(なにわ)の海」
 - ③豊かな「魚庭(なにわ)の海」
- ・多様な生物が生息し、豊富な海産物の恵みが得られる海

大阪湾では、平成20年度から大阪湾沿岸で活動する団体と一緒に各地の生き物を一斉に調査する「大阪湾生き物一斉調査」を毎年実施しており、この「大阪湾生き物一斉調査」の調査結果やその他の調査結果、大阪府や兵庫県で作成されたレッドリスト等の情報をもとに、海岸生物の専門家が話し合い、大阪湾において今後、新たに定着あるいは分布範囲の拡大を期待する生物種を選定した、「大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草, 2022年版)(初版)」を令和4年10月に作成し、ホームページ等で公表した。

令和6年度からは、新たな行動計画(第三期)が策定される予定であり、今後、港湾・空港事業における影響評価や、行動計画(第三期)の評価指標の一つとして、また、観察会等でウェルカムリストの生物がいるかどうかを確認し、多くの人に大阪湾の環境に興味を持っていただくことに寄与すると期待されている。

9. 事業内容・添付資料

「大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草, 2022年版)(初版)」では、無脊椎動物172種、海藻・海草12種が選ばれ、選ばれた生物は種類ごとにA～Cランクに分けられている。

【ランク区分】

Aランク:大阪湾内では近年(1950年代以降)の記録が無い(ただし近隣海域では記録されている)か、記録がごく限られていて、生育・生息基盤が脆弱であると考えられる種。

Bランク:大阪湾内では産地が限られていて、今後分布の拡大が期待される種。

Cランク:大阪湾内では多数の地点で記録され、かつ良好な環境(水質・底質・地形)の目安となる種。

※良好な環境:大阪湾再生行動計画に基づいて取り組まれている湾内の水質改善と干潟、砂浜、藻場、浅場、親水護岸等の整備によって期待される生物にとって好ましい環境

A
ランク

大阪湾内での記録が乏しく、
今後復活が望まれる種

| 和名 | 期待される環境・分布の現状 |
|-------------|-----------------|
| 無脊椎動物 | |
| ニンジンイソギンチャク | 砂質の前浜干潟。阪南市、由良湾 |
| ミズヒメイソギンチャク | 砂質の前浜干潟。二色湾。成ケ島 |

びっくり!
ほんまかいな!



53種

| | |
|---------|---------------------|
| シオヤガイ | 砂質の前浜干潟。成ケ島、アジュール舞子 |
| ガンギハマグリ | 前浜干潟の細砂底やアマモ場。成ケ島 |
| ハマグリ | 砂質の前浜干潟。住吉川、成ケ島 |

B
ランク

湾内では限られた地点でのみ記録されており、
今後分布の拡大が期待される種

| 和名 | 期待される環境・分布の現状 |
|-----------------|-----------------|
| 無脊椎動物 | |
| ウスバヤミセンガイまたは近似種 | 砂泥質の干潟。泉南海域と洲本市 |
| ツバキガイ | 干潟の砂底。岸和田市。洲本市 |

待ってました!
よう来たな!



63種

| | |
|-------------|----------------------|
| ハマシノミガイ | 湾口付近の潮上帯。加太、成ケ島、深日漁港 |
| クログチ | 海岸～河口。泉大津市以南と成ケ島 |
| イナズマメアゲマキガイ | 潮間帯中～下部の転石下。成ケ島と加太海岸 |

C
ランク

湾内の良好な自然環境において記録され、
そのような環境を代表する種

| 和名 | 期待される環境・分布の現状 |
|---------|----------------------|
| 無脊椎動物 | |
| シボリガイ | カキ礁。大阪府下と甲子園浜、成ケ島に分布 |
| イシマキガイ | 河口や干潟の水中の転石上。湾内に広く分布 |
| ヒナユキスズメ | 干潟に埋没した石。湾内に広く分布 |
| ミナゴドリ | 干潟に埋没した石。泉大津市以南と洲本市 |

これからもよろしく!
ずっとおってな!

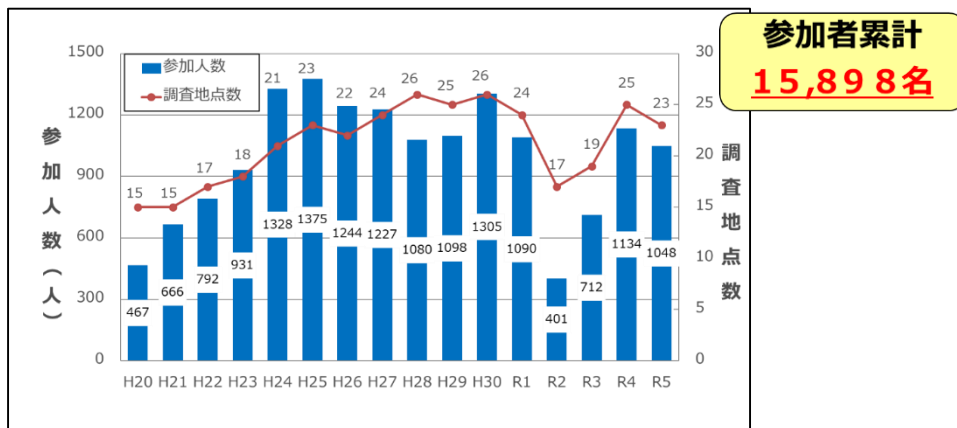


68種

| | |
|-----------|----------------------|
| スジホシムシ | 前浜干潟。各地に分布するが湾奥では未記録 |
| スジホシムシモドキ | 砂中。湾奥を除く湾内に広く分布 |
| タマシキゴカイ | 干潟の砂～砂泥中に埋入。湾内に広く分布 |
| クルマエビ | 砂泥底。岸和田以南と由良湾の干潟でも記録 |
| ヨシエビ | 干潟の砂泥底。湾内に広く分布 |
| コシメザリエビ | 藻場に生息。湾奥を除く湾内に広く分布 |

大阪湾海岸生物ウェルカムリストの抜粋

【参考】「大阪湾生き物一斉調査」は平成17年に海域環境の保全・再生をめざした行政・大学・NPO 等で「大阪湾環境再生連絡会」設立し、その中で大阪湾再生に向けた市民参加型プログラムのあり方や実施内容を検討するワーキングにより、「市民の関心を高めるにはわかりやすい指標によるモニタリングが重要」との判断がなされ、平成19年度に「大阪湾再生生き物一斉調査実行委員会」を設置し、試行調査を経て、平成20年度より、現地調査を6月に、結果発表会を9月から11月の間で実施してきた。令和5年度には第16回目となる「大阪湾生き物一斉調査」を実施した。



参加者累計
15,898名

調査地点数と参加人数の推移